

**第 20 回おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議
議事録要旨**

令和 4 年 2 月 4 日(金)
午前 10 時 30 分～11 時 30 分
オンライン会議 (Webex)

標記の会議については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑止のため、オンライン会議とした。会議当日、オンラインでの参加が困難な委員には、令和 4 年 1 月 27 日から 2 月 3 日で書面会議を実施した。

[配布資料]

- 資料 1 おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプラン指標の推進状況報告
- 資料 2 おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー活動報告
- 資料 3 総合的な学習の時間の支援について
- 資料 4 福祉理解スキルアップ講座について

《資料番号なし》

- 第 4 期おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議委員
- 令和 3 年度ユニバサルデザインのまちづくり市内推進委員会委員
- おおた区報 令和 3 年 11 月 11 日号
- ユニバーサルデザイン窓口サービスガイドライン普及版
- 講演資料「合理的配慮の不提供と差別を考える」

[出席者]

(区民推進会議委員) 22 名

《オンライン会議》

東洋大学人間科学総合研究所 客員研究員 川内委員／東京大学准教授 松田委員／大田区精神障がい者家族連絡会 川崎委員／共に生きるまち大田 川端委員／おおた高齢者見守りネットワーク 柳谷委員／特定非営利活動法人 男女共同参画おおた 板倉委員／大田区私立保育園連合会 三浦委員／大田観光協会 小関委員／(私立)大森学園高等学校 安達委員／東日本旅客鉄道株式会社 沖田委員／京浜急行電鉄株式会社 渡辺委員／東急電鉄株式会社 五島委員(代理)／公募 勝又委員／公募 加藤委員／公募 三谷委員

《書面会議》

NPO法人大身連 宮澤委員／大田区手をつなぐ育成会 橋本委員／蒲田東口地区まちづくり協議会 田中委員／大森駅東地区近代化協議会 加藤委員／大田区自治会連合会 小山委員／日本・ネパール協力会 小林委員／大田区商店街連合会 鈴木委員

(市内推進委員) 17 名

福祉部長／企画調整担当課長／広聴広報課長／施設保全課長／国際都市・多文化共生推進課長／産業振興課長／福祉管理課長／高齢福祉課長／障害福祉課長／障がい者総合サポートセンター 次長／子育て支援課長／まちづくり計画調整担当課長／住宅担当課長／鉄道・都市づくり課長／空港まちづくり課長／都市基盤管理課長／指導課統括指導主事

(事務局)

福祉部副参事(地域共生推進担当)／福祉管理課調整担当係長／福祉管理課調整担当職員

[次第]

1 開会

2 福祉部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題

(1) おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプラン指標の推進状況報告【資料1】

(2) 令和3年度ユニバーサルデザインのまちづくり事業実績報告

① おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー活動報告【資料2】

② 総合的な学習の時間の支援について【資料3】

③ 福祉理解スキルアップ講座について【資料4】

5 川内会長講演 「合理的配慮の不提供と差別を考える」

6 閉会

(会長)

議題を順に進めていきたいと思えます。次第4(1)について、事務局より報告をお願いいたします。

—事務局より説明—

次第4(1) おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプラン指標の推進状況報告

(会長)

ありがとうございました。報告がありました件について、委員の皆様からご意見・ご質問をお願いします。

(委員)

指標の数値について、令和3年度の見込みを教えてください。

(福祉部副参事(地域共生推進担当))

令和3年度の数値につきましては、まだ確定していない部分もありますので、改めて、来年度実績報告させていただきます。コロナ禍でのUD推進事業については、工夫を重ねて改善を図っております。令和3年度につきましては、その工夫が多少反映されている部分も出てくるかと思えます。ただ、ご承知のとおりオミクロン株が感染拡大しており、年度の後半に予定をしておりました事業につきましては、まだ厳しい状況になっているという認識でおります。令和3年度の実績値が出たところで、皆様からご意見を頂戴できたらと思えます。

(委員)

この会議は、1年に1回ですよ。そうすると、来年度の今頃に令和3年度の実績が出てくるといふ形になるので、現時点で令和3年度の回答は出ていないというのは、真つ当な回答だと思ひます。ただ、コロナの影響で2年間いろいろなことが止まっているということについて、現在どのような状況にあるのか、先程事務局より令和2年より令和3年のほうが改善したとお話がありましたが、どのような改善がされているのか知りたかったので質問しました。この会議が年に1回ということなので、情報共有についてはスピード感が欲しいと思ひます。

(会長)

令和3年度の間値、または12月末時点での数値は、示せたのではないのかなと思ひます。事務局は、速報値等をなるべく早くメール、書面等で委員の皆様にお伝えすることは可能ですか。

(福祉部副参事(地域共生推進担当))

UD区民推進会議は、基本的に年2回実施させていただきたいと思っております。会長からご意見いただいたとおり、今年度のこの時期になる前に、早めに皆様に情報を共有できるよう取り組んでまいりたいと思ひます。

(委員)

資料1の小中学校での「総合的な学習の時間(身体障がい・知的障がい理解教育)」等への支援の実施回数について、前から申し上げているのですが、なかなかここに精神障がい理解が入り込めていません。昨年、副校長会、PTAの会で精神障がいの話をさせていただきましたが、子供たちの中で不登校、精神疾患等が増えているので、小中学校の生徒さんに知ってもらいたいです。子供たちは、精神障がいについて何もわかっていない状態だと思ひますので、来年度、ご協力いただけたらと思ひます。

(福祉部副参事(地域共生推進担当))

平素より、啓発のご協力ありがとうございます。小中学校や小さい時からUDの普及啓発をしていくことは、大変大事なことだと思っております。事務局もできる限りのことをさせていただきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

(福祉部長)

1点補足させてください。令和4年2月3日に、おた区報 障がい福祉特集号を発行いたしました。追って皆様の所にも届くと思うのですが、その中で、委員からの、精神障がいへの理解に関するお話を掲載させていただいております。区としても、精神障がいのある方の状況の周知に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後もどうぞよろしくお願ひいたします。

(委員)

いつでもご協力できますので、よろしくお願ひいたします。

(会長)

それでは、事務局より書面会議にて提出されたご意見・ご質問について報告お願いいたします。

—事務局より報告—

次第4(1)に対する書面会議のご意見・ご質問

(会長)

ありがとうございます。書面会議で提出されたご意見・ご質問には、どのように回答されるのか教えていただけますでしょうか。

(福祉部副参事(地域共生推進担当))

書面会議の回答については、本日の議事録と共に全ての委員の皆様に共有させていただきます。障がい者就労定着支援者登録者数については、ご質問いただいておりますので、この場で所管する課長から回答させていただきます。

(会長)

身体・知的障がい理解の小中学校の内訳は、今日ご回答いただけますか？

(福祉部副参事(地域共生推進担当))

令和2年度につきましては、身体障がい理解が小学校2校、中学校0校、知的障がい理解が小学校0校、中学校0校になります。

(会長)

令和4年度以降は、小中学校の内訳をご報告いただくようお願いいたします。では、障がい者就労定着支援者登録者数の障がい者別の人数の内訳、登録方法や周知の仕方についてご回答をお願いいたします。

(障がい者総合サポートセンター次長)

報告の令和2年度障がい者就労定着支援登録者数919名の内訳ですが、手帳別に申し上げますが、身体障害者手帳51人(5%)、愛の手帳646人(70%)、精神保健福祉手帳152人(17%)、その他(2つ以上の手帳を重複してお持ちの方が)70人(8%)です。

登録方法や周知の方法については、区民又は支援機関の方からサポートセンター内にある「障がい者就労支援センター」にご相談いただき、就労面での課題に応じた対応を行うなかで、登録を受け付けています。また、各特別支援学校とは、学校と直接やり取りを行い、希望の方には卒業前の3月に登録していただいております。周知につきましては、大田区ホームページで広報するほか、ハローワークやJOBOTA、区内障害福祉サービス事業所などを構成機関とする「就労支援ネットワーク事業」において、日頃から連携を取ることで、就労支援センターの機能の周知に努めております。

先程、委員から「令和3年度の見込みを教えてください」というご質問がありましたの

で、令和3年度の様子を簡単にご紹介したいと思います。本日、令和2年度末の数字919名とご報告したわけですが、さらに令和3年度は、法定雇用率の引き上げということもありまして100名近く増える予定です。他の事業所の数値が分からないので、あくまでも見込みになりますが、その程度増える予定です。また、コロナ禍ということで障がい者就労、大変ご心配していただいているとおりますが、障害者だから解雇というわけではなく、全体の部署での見直しという中での異動、あるいは退職された方が数名いらっしゃいました。法定雇用率の引き上げというのもありまして、障害者就労はやや活発になっております。一般よりも障がい者雇用は工夫等をしながら、継続してやってくださっている企業が多いというような状況です。

(委員)

今年度は、1000人以上になる予定だというお話でしたが、令和5年度の目標が850人になっています。例えば850人の定員なのに、これだけ多くの方がいらっしゃって受け入れの体制は改善とか人員を増やす等、何かそういう手立てをご検討いただけそうなのでしょうか。850人の受け入れなのに、こんなにいっぱいいらっしゃって対応ができていますのかどうか対応に不安があったものですから。

(障がい者総合サポートセンター次長)

ご心配いただきまして、ありがとうございます。この850人というのは目標ではございますが、これが定員というわけではございません。必要に応じて、スタッフの人数等も見直しているところです。一人ひとりに数が多くなっても支援がいき届くようにサービスの質を落とさぬよう現場、スタッフも頑張っておりますので、どうぞよろしく願います。

(会長)

柔軟性はあるよというお話だったと思います。続いて次第4(2)について、事務局より報告をお願いいたします。

—事務局より説明—

次第4(2) 令和3年度ユニバーサルデザインのまちづくり事業実績報告

- ①おたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー活動報告
- ②総合的な学習の時間の支援について
- ③福祉理解スキルアップ講座について

(会長)

ありがとうございました。報告がありました件について、委員の皆様からご意見・ご質問をお願いいたします。

(委員)

資料2のUD合同点検についてお伺いしたいと思います。かなり昔からやっていらっしやっていて、非常に良い事業だなと思っています。教えていただきたいのは、図面と書い

であるものと無いものについてです。UDの立場で行う場合には、建物ができてしまっ
ては直すのがとても難しいので、設計段階においてある程度フィードバックを行えるよ
う意見をいただいて、それをまた、出来た後に反映するようなことが有効かと思いま
すが、そのあたり現在どのように進めていられるのか少しご説明いただけますか。

(福祉管理課調整担当係長)

施設の新設・大規模改修前等の整備前点検、竣工・整備後の点検の原則2回実施させてい
ただいております。したがって、図面と記載されているものは整備前点検になります。図
面点検を実施した施設等が完成した際には、改めて整備後点検を行います。図面点検は、
設計図面を見ながらご意見をいただく点検になります。

(委員)

ありがとうございます。着実に進めていらっしゃるのだらうなと思います。要望としま
しては、指摘されていく点がある程度共通してくると思います。ぜひ、事前と事後の指摘
と評価がどのような内容であったのかを区職員やUDパートナーの方に適宜情報共有し
ていただければ、より手間も少なくなるし、点検の精度も上がっていくことと思います。

(委員)

総合学習について、感染症の感染拡大状況のため実施が難しい状況ですが、例えば、講師
の方を集めてユーチューブや動画を作成のような、オンラインを利用する工夫はないで
しょうか。

(福祉管理課調整担当係長)

総合的な学習については、感染症に対応したやり方を考えていく必要があると思ってい
ます。オンラインを活用している学校があると聞いておりますので、今後、動画等を活用
して生徒の皆さんにより良い学習ができるような方策を考え、主催者である当事者の方
のご意見も聞きながら進めていきたいと考えております。

(会長)

資料3、4の文言に障がい当事者の生きづらさと書かれております。最近、社会の中で障
がいのある方は常に困っている人、常に生きづらさを抱えている人とマイナスな面が強
調されているように思います。障がい理解と書いてあるが、障がい理解とはそういうも
のなのかと思う。障がいのある方でも嬉しいこと、楽しいことはいっぱいあります。で
すから、そういうことを含めての理解でないと、すごく偏ったものになり、その結果として
障がいのある方を見たら、すぐに手助けしましょうといった誤った情報が広がっている
ように思います。生きづらさもありますが、それだけではないということも伝える必要
があります。また、体験学習というのも危険に感じます。見えている方が、アイマスク体
験をすると見えない、怖いという経験が先に立ってしまう。そうすると、見えない方に対
するあの人たちは大変なんだと誤った情報がインプットされてしまいます。ですから体
験学習というのもやり方を間違えるとマイナスになってしまうということを感じながら
やっていただけたらと思います。

(会長)

それでは、事務局より書面会議にて提出されたご意見、ご質問について報告お願いいたします。

－事務局より報告－

次第４（２）に対する書面会議のご意見・ご質問

(会長)

ありがとうございます。特にご意見等が無ければ次に進めさせていただく前に、私の方から申し上げたいことがあります。資料１についてですが、評価は、アウトプット、アウトカムという２つの評価方法があります。今日の報告は全てアウトプットに係るものでした。これからはアウトカム、どのような効果が生まれているかといった視点の評価にしていかななくてはならないと思います。これについては、またご相談しながらやっていきたいなと思っています。

－会長 講演－

(福祉部副参事(地域共生推進担当))

以上を持ちまして、第 20 回おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議を終了いたします。本日は、ご多忙のところご出席くださりまして、ありがとうございました。

[書面会議 ご意見・ご質問一覧]

番号	該当箇所	ご質問・ご意見	回答
1	資料 1	かなり多岐に渡っての取り組みであり、総合的な改善には時間的にも人的にも多くの活動や整備が必要であり、コロナ禍が落ち着くまで難しいなどの課題もありますが、着実に前に進めていただければと思います。	アクションプランの計画期間（令和元年～令和5年）も折り返しに入りましたが、感染症という予期せぬ課題により事業の実施に停滞が見て取れる項目もあります。まずは、各事業において令和5年度の指標目標達成及び達成効果が維持できるよう引き続き工夫して取り組んでまいります。
2	資料 1	コロナ禍が終息の際には、令和4年～5年に向けて、会議等によって充実したアクションプランができることになればと思っています。	
3	資料 1	ユニバーサルデザインの考え方の理解度はまだ低いですね。	引き続き、区報や普及啓発冊子や区民を対象とした地域による実践講座にて、ユニバーサルデザインの普及啓発に取り組んでまいります。また、Twitter 等の情報媒体を活用した周知啓発方法についても検討していきます。
4	資料 1	正確な指標を出すためにも内訳として追加で小学校と中学校と分けての数字を出していただきたいと思っています。理由として、知的は中学校からの依頼がほぼゼロとなっています。	<p>平成 30 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体：小学校 30 校、中学校 2 校 ・知的：小学校 10 校、中学校 1 校 <p>令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体：小学校 28 校、中学校 2 校 ・知的：小学校 12 校、中学校 2 校 <p>令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体：小学校 2 校、中学校 0 校 ・知的：小学校 0 校、中学校 0 校 <p>来年度以降、実績報告の際には、小学校と中学校の内訳も併せて表記するようにいたします。</p>

5	資料 1	<p>①障害者別の人数の内訳はどのようになっているのかお聞かせください。</p> <p>②登録方法や周知の仕方は、どのようになっているのか教えてください。</p>	<p>①報告の令和2年度障がい者就労定着支援登録者数 919 名の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳 51 人(5%) ・愛の手帳 646 人(70%) ・精神保健福祉手帳 152 人(17%) ・その他(2つ以上の手帳を重複してお持ちの方が) 70 人(8%)です。 <p>②登録方法や周知の方法については、区民又は支援機関の方からサポートセンター内にある「障がい者就労支援センター」にご相談いただき、就労面での課題に応じた対応を行うなかで、登録を受け付けています。また、各特別支援学校とは、学校と直接やり取りを行い、希望の方には卒業前の3月に登録していただいております。周知につきましては、大田区ホームページで広報するほか、ハローワークやJOB O T A、区内障害福祉サービス事業所などを構成機関とする「就労支援ネットワーク事業」において、日頃から連携を取ることで、就労支援センターの機能の周知に努めております。</p>
6	資料 1	<p>歩道に歩行者と自転車と色分けし区別をしている箇所がありますが、歩道に自転車レーンがあることによって、堂々とスピードを出し歩行者レーンを走っている人が多く、危険だと思います。自転車専用通行帯を設けるなど対策を考えていただきたいと思います。</p>	<p>自転車の走行については、車道が原則、歩道は例外というルールとなっております。区でも様々な形で、区民の皆様へ周知・啓発を実施しているところです。より広く認知を図るために、継続して周知・啓発に努めてまいります。また、自転車専用通行帯につきましても、実際の道路状況を考慮しながら、整備の検討を行ってまいります。</p>

7	資料2	<p>UDパートナーの方々にはご負担をおかけしてしまいますが、更に多くの施設や場所で実地点検をして、よりくらしやすい街になるような取り組みをお願いしたい。</p>	<p>UDパートナーの方々には、平日のお忙しい中、区の事業にご協力いただき大変感謝しております。点検を実施するだけで満足することなく、いただいたご意見をもとに、多様な方が暮らしやすい、利用しやすい街になるよう整備等を継続して行ってまいります。</p>
8	資料2	<p>蒲田駅南口駅前広場が整備されると景観が良くなります。</p>	<p>歩道空間を広げ、ひとと自転車、自動車を分け、利用しやすい広場を目指し、整備を進めてまいります。</p>
9	資料3	<p>コロナ禍により実施が少ないのは残念であるが、子供達にも有意義な取り組みだと思うので、状況が許されるような時節になったら積極的に行って頂きたい。</p>	<p>コロナ禍においても学校からの申し込みは例年に引き続き多くいただいております。障がい理解に関する学習の反響が大きいことを実感しております。感染状況を見極めながら、授業の実施に向けて取り組んでまいります。</p>
10	資料3	<p>以前にもお願いをさせていただいているのですが、理解教育という観点から普通級においてもグレーゾーンの児童・生徒は各クラス数名おり、児童生徒への対応に悩んでいる教員が多くいらしゃるように思います。教員研修実施や内容は各学校にお任せと教育委員会からご回答をいただいておりますが、新たに項目を設ける等して、ぜひ、教員向け理解教育の実施をお願いします。</p> <p>また、保護者への理解も進んでおらず、トラブルになることが多いので、保護者への理解啓発も併せて検討してください。</p>	<p>教員研修実施や内容は各学校に任せているということはありません。子どもたちが様々な背景を抱え、悩んだり、ストレスを感じていたりしている状況を、教師がきめ細かく把握し、必要に応じて適切な指導・助言を行うことは非常に重要です。</p> <p>年々、子どもたちを取り巻く状況は多様化・複雑化しており、抱える悩みに寄り添うためには、一人一人の子どもの背景についても理解する必要があります。</p> <p>そのためには、教師やスクールカウンセラーの専門的な教育相談力、カウンセリング力の向上が欠かせません。子どもたちを巡る今日的な課題や、その対応についての研修をより一層充実させるとともに、保護者への理解啓発を進めてまいります。</p>

11	資料 3	令和 3 年度はコロナの為出来ませんが、大身連の主体で活動します。	令和 4 年度以降、宮沢理事長をはじめとする大身連の皆さまにご協力いただきながら、障がい者理解の授業が 1 校でも多く開催できるよう、福祉管理課としても団体と学校の調整役として円滑な開催に向けて努めてまいります。
12	資料 4	より多くの職員の方々に受講していただければ良いと思います。	福祉理解スキルアップ講座については、毎年度、全庁的に実施しており、原則、受講経験のない職員を対象としています。来年度以降も職員の障がいに対する理解が深まるよう引き続き取り組んでまいります。
13	資料 4	区職員が 75 名出席、大変うれしく感じました。委員にもコロナ終息の際には、実際に講座を受講させて欲しいと思います。	職員を対象とした講座については、今後も引き続き実施してまいります。
14	その他	UD 窓口サービスガイドラインは、それぞれの障がいに対して分かりやすく書かれていると思います。区職員へ向けての冊子のようですが、簡易版の小型サイズを一般向けに案内できれば良いと感じました。説明を見れば当たり前であったりしますが、障がいの種類によっての対応の優先順位が明確になると思います。	広く一般の方には、「心のバリアフリーハンドブック（冊子）」を通して、多様な方の特性を紹介しております。ただ、今回ご意見いただきましたように具体的な対応については記載されていませんので、対応方法を記した普及・啓発物の作成については今後検討してまいります。
15	その他	ガイドラインが非常に分かりやすかったです。	ご感想ありがとうございます。多くの職場で継続して活用するよう呼びかけてまいります。